

毎月1点検運動

～みんなで減災対策～

9月テーマ

災害医療・救急救命

救急箱をはじめ、止血や骨折、やけどなどの応急手当の方法を身につけましょう。
正しい人工呼吸や心臓マッサージの方法、AEDの使い方といった心肺蘇生法も学んでおきましょう。

救命の連鎖

急な病気で倒れた方の救命率を上げるためには「救命の連鎖」と呼ばれる4つの輪が途切れることなくつながることが必要です。



個人でできる「心肺蘇生法」

意識がない人を見つけたら、まずは大声で呼びかけて意識を確認！

反応がなければ、周りの人に119番通報、AEDを持ってくることを依頼！

AEDは電気を入れると音声流れますので、その指示に従って操作してください。

近くにAEDがなければ、ただちに心臓マッサージを！
「心臓マッサージ」は、1分間に100～120回の速さで約5cm（6cmを超えない）の深さで行ってください。

「救急車」適正利用のお願い

本県の令和4年の「救急出動件数」は、38,019件（速報）で、令和3年度から約11.5%増加。1日当たりの出動件数は約104件。この10年間で、約20%も増加しています。

令和4年度の「救急搬送人員」34,321人（速報）のうち、約44%は、入院を必要としない「軽症」の方の利用でした。

その救急要請、本当に必要ですか？

緊急性がなく、自分で病院に行ける場合は、救急車以外の交通機関等を利用してください。
また、救急車を呼ぶべきか判断に迷う場合は、徳島救急医療電話相談(#7119)、または、徳島こども医療電話相談(#8000)に電話してください。
ただし、命に関わる病気や怪我の場合は、迷わず119番通報してください。

とくしま災時記 (9月編)

1945 (昭20) 年 9/17 枕崎台風 (死者・行方不明者47名)	1976 (昭51) 年 9/8～13 台風第10号 (死者10名、全壊流出187棟)
1950 (昭25) 年 9/3 ジェーン台風 (死者・行方不明者38名)	2011 (平23) 年 9/1～4 台風第12号 (死者3名)
1961 (昭36) 年 9/16 第二室戸台風 (死者11名ほか記録的高潮)	